

| 項目 | 確認事項 | 届出内容 |
|-------------------------|--|---|
| 基本情報 | 大学等名1(代表大学等) | 帝京平成大学 |
| | 大学等名1(代表大学等)※カナ | テイキョウヘイセイダイガク |
| | 大学等名1(代表大学等)※学校コード | F113310102911 |
| | 大学等名1(代表大学等)学校本部所在地 | 東京都 |
| | 大学等名1(代表大学等)学校種別 | 私立大学 |
| | 科目名 | インターンシップⅠ・Ⅱ |
| | 学部・研究科等名 | 健康医療スポーツ学部医療スポーツ学科 |
| | 担当教職員名・役職 | 庄司一也：講師、森健次：就職支援室職員 |
| | 受講者数実績年度 | 令和2年度 |
| | 受講者数※インターンシップ参加者数 | 11 |
| | 受入企業等数 | 1 |
| | 受入企業等名 | 市原市消防局 |
| | インターンシップの分類 | 10.地元企業・経済団体や地方公共団体等との協働による地域密着型のインターンシップ |
| | 上記以外のインターンシップの分類(記述欄) | |
| 要素① | 1-1.当該インターンシップは、就業体験を伴うものになっていますか。 | 1.はい |
| | 1-2.該当する就業体験 | 1.企業等における業務への従事 |
| | | 2.企業等における課題の解決(例：ワークショップ、PBL型プログラム、課題解決ワーク、課題事例研究等) |
| | 1-2.で「3.その他」の就業体験の内容 | |
| | 1-3.上記回答内容に関する詳細 | インターンシップにて公共設備設置状況と有事の際の業務・人員配置について学び、業界・職務研究等就職活動に活用する。また現場経験を通して、市の抱える問題を公共団体・就業体験先の現場を把握しながら、現場職員と共に分析・検討していく。 |
| 要素② | 2-1.当該インターンシップを正規の教育課程の中に位置付け、シラバス等において、インターンシップの実施目的や期待する教育的効果を明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位認定が行われていますか。 | 1.はい |
| | 2-2.該当するインターンシップの内容 | 2.当該インターンシップは、キャリア教育科目として実施している |
| | | 6.当該インターンシップは、選択科目として実施している |
| | | 8.当該インターンシップは、休業期間中に実施している |
| | 2-2.「9.その他」で実施しているインターンシップの内容 | |
| | 2-3.当該インターンシップを実施する年次 | 大学 学部2年 |
| 大学 学部3年 | | |
| 2-4.当該インターンシップで付与される単位数 | 大学 2単位 | |

| | |
|---|---|
| 2-5.上記回答内容に関する詳細 | <p>本学ではインターンシップ科目として「インターンシップⅠ・Ⅱ」を配置している（各15回2単位。計30回実施）。2年生の「インターンシップⅠ」では社会人としての心構え、ビジネスマナーの学修、授業内で課題解決プロジェクトを実施する。3年生の「インターンシップⅡ」では先輩のインターンに関するモデリング、自己理解作成シートを作成する。また、5日間以上のインターンシップに参加し、公共団体が提供する課題解決プロジェクトを実施し、最終的に成果物の発表・報告書の提出を行う。</p> |
| 3-1.インターンシップの実施前の学生・企業双方との目標設定や目的のすり合わせや、実施後の振り返り等を行うなどの適切な学修の時間が設けられていますか。また、インターンシップの教育的効果が発揮されるようインターンシップ期間中に適切なモニタリングを実施していますか。 | 1.はい |
| 3-2-1.該当する事前学習の内容 | <p>1.学生に対して、社会人としてのマナーや守秘義務の遵守、パソコンの使用方法等を身に付ける授業等を行っている</p> <p>2.学生が受入企業の事業内容等に関する事前の調査・研究を行っている</p> <p>3.学生に対して、インターンシップにおける成果目標の確認や行動計画等の策定を行っている</p> <p>4.学生に対して、正規の教育課程としてのインターンシップの実施目的や期待する教育的効果の理解を促している</p> |
| 3-2-1.「5.その他」で実施している事前学習の内容 | |
| 3-2-2.該当する事後学習の内容 | <p>1.日報やレポート等を用いて、現場での体験の振り返りを行っている</p> <p>2.報告会等により、インターンシップの成果について、受入企業や担当社員へのフィードバックを行っている</p> <p>3.振り返りを実施し、成果目標等の達成について確認を行っている</p> |
| 3-2-2.「4.その他」で実施している事後学習の内容 | |
| 3-2-3.該当するモニタリング | 2.インターンシップ中に、学生が定期的に大学等において教職員と面談を実施している |
| 3-2-3.「3.その他」で実施しているモニタリングの内容 | |
| 3-3-1.事前学習の内容に関する詳細 | <ul style="list-style-type: none"> ・インターンシップにおける目的と目標の明確化 ・ビジネスマナー、就活マナーの基本学習 ・実習先の現状、特徴、課題点についての情報収集と理解・学内課題解決プロジェクト参加、グループディスカッション・グループワークの実施 |
| 3-3-2.事後学習の内容に関する詳細 | <ul style="list-style-type: none"> ・現場での問題の再確認、社会人として求められる知識・能力・技術の検証 ・現場における課題の定性的・定量的な振り返り（分析・考察） ・担当教員・就職支援室職員からのフィードバックと自身の課題作成 ・ビジネスマナー、社会人としての心構えの修得 |

| | | |
|-------|--|--|
| | 3-3-3.モニタリングの内容に関する詳細 | 科目担当教員、就職支援室職員を中心に実習期間・終了後に実習先訪問を実施。また、日誌・報告書を元に実習先担当職員からのフィードバック、意見交換を実施。 |
| 要素④ | 4-1.インターンシップの教育的効果を定量的・定性的に把握できる手法・仕組みを取り入れていますか。 | 1.はい |
| | 4-2.該当する教育的効果を測定する仕組み | 1.アンケートやレポートの作成をインターンシップの実施前後で実施し、学生の意識や行動の変容について確認を行っている 3.インターンシップによる到達度を具体的に示した評価基準（例：ルーブリック）を整備し、学生及び教員で共有している |
| | 4-2.「4.その他」で実施している教育的効果を測定する仕組み | |
| | 4-3.上記回答内容に関する詳細 | 日誌・報告書を作成し、インターンシップ全体の振り返りを実施。実習先担当者による実習中の評価を実施。本学キャリア教育担当教職員による、フィードバックを実施。 |
| 要素⑤ | 5-1.一定期間のまとまりのある連続した5日間以上のインターンシップの実施期間を確保していますか。 | 1.はい |
| | 5-2.該当する実施期間 | 2.事前・事後学習との組み合わせにより、計5日間以上の実施期間を確保している |
| | 5-2.で「1.連続した5日間以上」を選択した場合 | |
| | 5-2.で「2.事前・事後学習を合わせて5日間以上」を選択した場合 | |
| | 5-2.で「3.複数の企業等を合わせて5日間以上」を選択した場合 | |
| | 5-2.「4.その他」の実施期間の内容 | |
| | 5-3.上記回答内容に関する詳細 | 事前・事後学習、フィールドワークを含め最低5日間以上の実習を実施。個別に事前・事後指導を実施している。 |
| 要素⑥ | 6-1.大学等と企業の双方が関与し合い、学生に対する教育的効果の最大化に努めているなど、大学等と企業が協働してプログラムを設計していますか。 | 1.はい |
| | 6-2.該当する大学等と企業の協働取組の内容 | 1.企業や産業界にとっての意義やメリット、必要な成果等を考慮し、企業と協働してプログラムを設計している 3.企業担当者が学生に対して適切に関与し、目標達成に導くなど、大学として必要な支援を行っている 4.受入企業等も、インターンシップ中の学生に対する評価を実施している |
| | 6-2.「7.その他」で実施している大学等と企業の協働取組の内容 | |
| | 6-3.上記回答内容に関する詳細 | 庁舎を見学し、市原市における防災・環境設備の現状と市の問題について現場職員と一緒に分析して考え、意見交換を行い、現場職員による評価を行う。 |
| | 7.上記①～⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL | https://unipa.thu.ac.jp/uprx/up/pk/pky001/Pky00101.xhtml |
| 問い合わせ | 大学等名 | 帝京平成大学 |
| | 担当部署名 | 就職支援室（千葉キャンパス） |
| | 担当者役職名 | 主任 |
| | 担当者氏名 | 森 健次 |
| | 電話番号 | 0436-74-6469 |

先

メールアドレス

tcc-s-career@thu.ac.jp